

土の子の学力向上プラン

【第5次総合計画】基本施策G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます。 G1-1 「確かな学力」の向上を図ります。
G1-2 健やかな心と体を育成します。 G1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります。

【学校教育目標】 「よく学び いつも元気で やる気いっぱい」の子どもを育てる

【めざす子ども像】 大すきいっぱい ～ よく学び いつも元気で やる気いっぱい ～

【研究主題】 「すすんで学ぶ土の子の育成」 ～ ともに学び合い、児童全員を学習者とする授業を通して ～

《 土の子の課題（6年生全国学力学習調査の結果から）と目標数値 》

【国語科】全体的に正答率が低い。特に「情報の取り扱いに関する事項」と「書くこと」に課題が見られる。 △原因と結果など、情報と除法の関係について理解する。（正答率45.6%） △文章の種類とその特徴について理解する。（正答率68.4%） △目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。（正答率66.7%） △記述式の問題など、無回答率が高い問題がある。（無回答率14%）	目標数値	【算数科】正答率は県平均と同等程度。「図形」と「数と計算」領域で課題が見られる。 △底辺と面積の関係性を基に、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。（正答率3.5%） △わり算の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える。（正答率36.8%） △（ ）を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る。（正答率64.9%） △グラフを読み、言葉と数を用いて記述する問題の無回答率が高い。（無回答率10.5%）	目標数値
	正答率50%		正答率10%
	正答率73%		正答率41%
	正答率71%		正答率69%
	無回答率5%		無回答率5%

基礎基本の徹底 ○基礎基本の定着を図る ○家庭学習の定着 ○朝の時間の有効な活用 ・チャレンジタイムでのコグトレ	思考力・表現力等の育成 ○授業改善 ・考えを書く時間の確保 ・「学び合い」活動の充実 ・めあての焦点化、明確化	学習意欲の向上 ○分かる授業の研究 ○自ら学ぶ態度の育成 ○朝の時間を活用した学びの土台作り（コグトレ・詩への挑戦等） ○授業の準備物の置き方を統一	家庭学習の充実 ○家庭学習の時間の確保 ・ICT機器の有効な活用 ・自主学習の奨励 ○家庭学習の定着と家庭への啓発 ・家庭学習振り返り週間の設定	教師の指導力向上 ○校内研究の充実 ・あじさいスタンダードの活用 ・読解力育成プランの活用 ・「学び合い」活動の充実 ・ICT教育の充実	指導体制の充実 ○校内指導体制の工夫（TT等） ○人権教育を基盤とした教育活動（学級経営） ○特別支援教育の充実（UD）
---	--	---	--	--	--

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学年の課題(国語科・算数科)	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名、漢字の習得が不十分である。 促音、拗音、長音など、正確に読めたり書けなかったりすることがある。 設問の内容を正しく読み取る力が十分ではない。 話を聞くことが十分にできていない。理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 助詞の理解が不十分であり、まとまりのある文を書くことが苦手である。 設問の内容を正しく読み取る力が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 片仮名や漢字の習得が不十分である。 助詞の理解が不十分であり、まとまりのある文を書くことが困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取りが不十分である。 相手に伝わるように筋道を立ててまとまりのある文を書くことに課題がある。 語彙が乏しいために文章を理解することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題がある。 相手に伝わるように、理由や事例を挙げることに課題がある。 書くことに対して苦手意識があり、条件に合わせて書くことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを文章に表すことに課題がある。 文章能力には差が見られる。 漢字の習得は、個人差が大きい。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題に示されている内容を正しく読み取ることが苦手である。 計算問題に時間がかかる。 学習の流れがスムーズに捉えられていない。 量の理解が身に付いていない。 計算ミスが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題の理解が不十分である。 長さ、水のかさなど、量の理解が不十分である。 繰り上がりや繰り下がりのある計算ができない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題の題意を理解して、式を立て回答を導くことができない。 時計の理解が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> かけ算九九や繰り上がりのある足し算引き算を正確に計算することが苦手である。 単位の理解が不十分で、換算することが苦手である。 数の概念の理解が不十分である。 文章問題の題意を理解して、正しく立式することに課題がある。 指先の巧緻性に乏しく、分度器や定規を正確に扱うことができない。 図形の定義を理解することはできるが、それを活用した応用問題を、解決する道筋を立てられない。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行な直線の性質など、図形の性質への理解が低い。 コンパスや分度器など、道具を適切に使うことが苦手である。 分配法則を使って、簡単に計算する工夫ができていない。 数量の関係について、図を用いて表現することができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを順序立てて説明することが困難である。 立式の理由などを、図や数直線を使って説明することが苦手である。

	グループでの認め合いや教え合いの場面を仕組み、共に学ぶ良さに気付かせる。	学び合う時間を仕組み、子どもたちが主体的に学びに向かう意識付けを行う。	学び合う時間を充実させ、子どもたちの主体的な学びの質を向上させる。	
改善策(国語科・算数科)	家庭学習の習慣付けを行う。	家庭学習の定着と共に、自主的な学習に取り組む習慣付けを行う。	家庭学習の質の向上と、自身の課題に応じて計画を立てて自主学習に取り組むことができるようにする。	
	<ul style="list-style-type: none"> 視写、聴写に取り組み、正しく文字を書けるようにする。 音読・読書にも毎日取り組ませる。 設問に合った答え方を身に付けるために、練習プリントに定期的に取り組み、解説を行う。同じプリントを繰り返し用いて、達成感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読、読書の推進をする。 視写に取り組み、早く正確に文章を書けるよう指導する。 小テストを繰り返し行い、漢字の定着を図る。 感想を書く機会を増やすことで、感想を文に付ける力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の習得では定着できるように、熟語→文章のステップで練習を続けていく。 詩の視写に取り組み、正確に文章を書くことができるようにする。 自主学習に感想・振り返りを書くことを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の発問に対して、教科書の本文を根拠に発言させる。 文章をお互いに推敲させ、説得力を持たせるためにはどうすればよいか考えさせる。 型を示したり、書き出しの言葉を統一したりして、「書くこと」への抵抗感を減らす。 家庭学習において、手紙や絵日記を書く活動を取り入れるなど、書く場面を多く設定し、「書くこと」への抵抗感を減らす。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題では、キーワードに着目させ、正しく立式することができるように、定期的に文章問題のプリントに取り組ませる。 計算問題に取り組ませる。 具体物や半具体物を用いて、理解を促す。 回答に対する見直しをその都度行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に計算問題や文章問題のプリントに取り組ませる。 具体物を用いて理解を促す。 長さ・測定など、他教科ともつなげつつ、量感覚を身に付ける。 教科書の復習問題に取り組む授業で丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題を図などに表し、題意を理解させようとして立式させる。 授業や家庭学習を通して、基本的な計算力の向上に努める。 長さの測定や、大きな数の学習など他教科ともつなげながら、量感覚が身に付いていくよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 四則演算を百マス計算を通して早く正確にできるようにする。 授業で図に表す機会を作り、問題解決に向けた見直しを持ちやすくする。 解決するための考えを筋道を立てて書くことができるために、型を提示し低位の児童でも書きやすくする。 思考力を問う問題に取り組む時間を増やす。

☆学校☆

- 学習環境の整備
- 学習規律の定着
- 学校図書館司書との連携
- 学力調査の実施・分析・改善策
- あじさいスタンダードを活用した授業改善

☆家庭☆

- 基本的な生活習慣づくり（早寝、早起き、朝ご飯）
- 家庭学習（宿題・自主学習）の定着

☆地域☆

- 幼保小連携、小中連携、その他関係機関との連携
- 地域行事への参加
- 地域人材の活用
- 学力向上サポーターの活用
- 放課後子ども教室